

2023年度 ドコモ市民活動団体助成事業 活動成果報告書

2024/10/2

団体名	NPO法人チャイボラ	活動タイトル	「社会的養護のお仕事」セミナー&座談会	
望ましい社会状況および団体のビジョン（社会的役割と活動基盤）			■活動風景	
●地域の望ましい社会状況(ビジョン)	社会的養護の子どもは虐待などの過酷な背景を持ち、障がいや心理的課題を抱える場合も多い。精神的・経済的に将来自立できるためには、鍵となるのは一緒に暮らす身近な大人が充分に適切に関わることができる環境である。具体的には、職員が一人ひとりの心に寄りそうこと、また特性や心理状態に合わせて生活支援や自立支援を行えること。最終的には、子どもたちが自己肯定感を回復し、自立や生活するチカラを備えることができ、子ども時代の幸福も、将来の安定や自己実現も叶えることができる。当団体は「子どもたち一人ひとりが大切に育てられる世の中」をめざす。			
●団体の社会的役割(ミッション)	「社会的養護施設の職員の確保と定着」の仕組みを日本に確立し、施設と人がつながる社会的な基盤を構築する。施設には「広報費」科目はないことから、HPがない、求人媒体に載せられない課題、また、閉鎖的な業界特性もあり企業で一般的な企業説明会もなく、学生は施設を見つけることも出来ない。採用のノウハウも不足している。一つの業界に文化とプラットフォームを作り広げるためには、ツールの提供だけでなく、徹底的に足を運び対話を重ね、各地域の特性を理解しながら進めていく必要がある。現在、300施設、求職者2000人まで登録が広がったが、5年以内には人材確保事業は完全に日本に確立させ「職員が足りない時に打ち手が無い状況」は解消する。			
●団体の活動基盤	<ul style="list-style-type: none"> ●望ましい人的資源：地域拡大によりサービスの登録者や利用者が拡大すること、また新規事業を想定。週数日以上勤務できる有給職員を増やし15名ほどとしたい。その際、ビジネス領域で実績のある人材を積極的に採用していくことで、管理、促進力、事業化を強めていく。 ●望ましい物的資源：事業のほとんどがITシステムにより成り立っている（採用情報プラットフォーム、相談窓口、相談会）。そのため全国展開に適した安定・高度化されたシステムが必要。 ●望ましい活動資金：上記を達成するために、現在より3000万円は安定的な予算が必要である。 ●望ましい情報：全国の地域特性に応じたニーズを理解すること。 			
■活動報告		■1年間の目標に対する達成状況(まとめ)		
2023年9月から2024年8月にかけて、社会的養護施設に対する理解促進と人材確保を目指し、保育士や大学生を対象にしたオンラインセミナーやSNSライブ、学校告知活動を実施しました。オンラインセミナー「お仕事プチセミナー」は月1回開催され、徐々に参加者が増加。理解度向上や動機付けの面で高い成果を挙げました。また、SNSを活用した情報発信も強化し、インタビュー形式の動画配信やYoutube動画配信を進め、視聴回数が徐々に増加。学校告知では保育士養成校への出張授業依頼が入るなど、学校との連携を強化しました。		<p>全体として、オンラインセミナーの参加人数や理解度向上、不安軽減において目標をほぼ達成しました。SNSライブは困難さがあったため、途中からYouTubeの活用により、リーチ拡大を図り、視聴者数も徐々に増加。学校告知活動では出張授業の依頼を得るなど、一定の成果がありました。さらなる拡大が課題となり、本助成金事業とは別資金にてお仕事ガイド作成・配布などを行いました。</p>		
■事業を通じて得られたノウハウ		■望ましい社会状況を達成するための課題		
SNSやオンラインセミナーを通じて、よりターゲットに届く内容や形式を調整することの重要性が明確になりました。特に面接や就活などの関心が高いことが視聴回数などから分かったため、今後はお仕事ガイドに就活ノウハウを入れていく予定です。また、学校告知活動においては、適切なタイミングやコミュニケーションの工夫が成果を上げるための鍵であると学びました。電話営業やガイドブック配布などにより具体的なつながりを作ることができました。		今回の事業で得られた見聞から、施設職員の人材不足を解消するためには、職員の魅力ややりがいを伝えるフックとして、より身近なニーズに応える必要性もできました。SNSやYouTube動画の活用により、現場のリアルな様子を発信する取り組みを増やすことができ、より媒体を広げることができましたが、視聴者数の増加には引き続き課題が残っています。今後は、近年増えているtiktokでの発信も始める予定です。さらに、強化してきた学校告知が有効であることが確認されましたが、継続的な関係構築が必要のため、単にコンタクトができる定量KPIだけでなく、関係の深さを表すKPIも増やす予定です。		
■活動成果のアピールポイント（自由記入）		■活動成果のアピールポイント（自由記入）		
この1年間の活動を通じて	オンラインセミナーでは、参加者の理解度向上94%、動機付け93%を達成しました。また、YouTube動画の視聴回数が1600回を超え、社会的養護施設に対する認知度向上		を達成しました。	
■受益者の具体的な変化（自由記入）				
参加者からは「社会的養護施設の仕事に対する不安が軽減され、前向きに検討できるようになった」との声が寄せられ、動機付けが高まりました。また、出張授業の依頼増加により、施設職員を知るきっかけ・機会の裾野も広がっています。				